

8. 指定障害福祉サービス事業

(1) 気仙沼市 松峰園

【概要】障害者総合支援法並びに気仙沼市障害者通所施設条例及び指定管理基本協定に基づき、気仙沼市に居住する知的障害のある方を対象に、指定就労移行支援事業及び指定就労継続B型事業サービスを適切に提供し、地域の障がい者の自立支援を行いました。

【事業実績】

月	就労移行在籍者数 就労継続B型在籍者数	開 所 日 数 開 所 日 数	当月入所者数 当月入所者数	当月退所者数 当月退所者数	利用延人数 利用延人数	平均利用者数 平均利用者数
4	5 45	20 20	1 2	0 0	98 760	4.9 38.0
5	5 45	19 19	0 0	0 0	92 751	4.8 39.5
6	5 45	22 22	0 0	0 0	105 807	4.8 36.7
7	5 45	20 20	0 0	0 0	95 725	4.8 36.3
8	5 45	19 19	0 0	0 0	89 698	4.7 36.7
9	5 43	20 20	0 0	0 2	99 772	5.0 38.6
10	5 43	20 20	0 0	0 0	98 747	4.9 37.4
11	5 43	19 19	0 0	0 0	91 711	4.8 37.4
12	5 43	19 19	0 0	0 0	86 707	4.5 37.2
1	5 43	19 19	0 0	0 0	83 692	4.4 36.4
2	5 43	20 20	0 0	0 0	83 733	4.2 36.7
3	5 42	22 22	0 0	0 1	86 801	3.9 36.4
計	60 525	239 239	1 2	0 3	1,105 8,904	4.6 37.3

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年4月20日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
5月19日	就労支援連絡会	洗心会本部事務所
6月20日	就労支援スタッフ会議	洗心会本部事務所
6月24日	指定障害者福祉サービス事業者等集団指導	宮城県庁
7月1日	メンタルヘルスクエア研修会	仙台市J Aビル
8月17日	指定障害者福祉サービス事業者等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月26日	障害者福祉施設職員研修	宮城県管工事会館
9月5日	福祉サービスの苦情に関する研修会	仙台市アエル
9月16日	就労支援会議	気仙沼保健福祉事務所
11月14日	福祉施設総合防災研修会	市ワテン庁舎
11月19日	宮城・仙台相談支援従事者内部研修	気仙沼市松岩公民館
11月28日	就労支援スタッフ会議	洗心会本部事務所
12月3日	心身障害者の福祉を高める会	市健康管理センター
平成29年1月27日	気仙沼地域障害者支援セミナー	気仙沼保健福祉事務所
2月17日	就労支援連絡会	気仙沼保健福祉事務所
3月14日	平成28年度記念講演会	気仙沼市民会館

【成果】就労移行支援事業については就労に結びつくケースはありませんでしたが、支援延長を行い、継続的な職場実習に取組みました。

また、生産活動については、昨年と比べ40万円ほどの収入増加となりました。

【課題】生産活動の売上は、昨年と比べ増加していますが、更なる収入を得るために作業班の見直しを図るなど抜本的な改革が求められています。

【今後の取組】新規職場実習先の開拓と事業所への営業活動を積極的に行い、就労に繋がるよう支援を行います。また新たに清掃事業を受託し、職員一丸となって生産活動に取組み、増収を図れるよう取組みます。

【決算】事業活動収入 80,379,572円
その他の活動収入 10,472,040円

事業活動支出 84,948,738円
その他の活動支出 2,871,840円
収支差額 3,031,034円

(2) 気仙沼市みのりの園

【概要】障がいがあっても地域で安心して生活できる施設の存在と、利用者の意思や個性を尊重し家庭と連携を図りながら自立に向けたサービスの提供に努めました。

【事業実績】

月	在籍者数	開所日数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	34	20	2	1	544	27.2
5	33	19	0	0	519	27.3
6	33	22	0	0	580	26.4
7	33	20	0	0	513	25.7
8	33	21	0	0	523	24.9
9	33	20	0	0	519	26.0
10	33	20	0	0	540	27.0
11	34	19	1	0	490	25.8
12	34	19	0	0	495	26.1
1	34	19	0	0	469	24.7
2	34	20	0	0	533	26.7
3	34	22	0	0	594	27.0
合計		241	3	1	6,319	26.2
前年度		245	3	0	6,096	24.9

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年5月18日	みのりの園家族会総会	本吉保健福祉センターいこい
6月26日	宮城県福祉施設集団指導	仙台市 宮城県庁
7月14日	従事職員虐待防止研修会議	みのりの園
8月10日	クレーム対応研修	仙台市
9月1日	福祉施設不審者対応研修	ワンテン
9月6日	福祉サービスの苦情に関する研修会	仙台市アエル
9月21日	みのりの園家族会施設見学研修会	ケアホームめぐみ
11月14日	福祉施設総合防災研修会	ワンテン
11月30日	みのりの園家族会成年後見制度研修会	本吉保健福祉センターいこい
12月1日	高齢化重度化対策支援研修会	名取市
12月16日	感染症予防吐物処理研修会	気仙沼社協本所
平成29年1月27日	気仙沼地域障害者支援セミナー	気仙沼保健福祉事務所

【成果】利用定員30名に対し、登録者数が34名となりました。地域で暮らす障害者の日中活動の場として位置付けられ、平均利用者数が前年度より1.3パーセント増となりました。利用者の高齢化や重度化に応じて、個々の心身の状況に適した福祉用具の導入を図り生活環境の改善に努めました。

また、清掃活動等で地域住民とふれあいを持ちながら地域との連携を図り、地域で生活する利用者の生活意欲の向上と自立支援への働きかけを行いました。

(平成28年度 障害福祉サービス等事業収入目標達成度 107% 前年度108.9%)

【課題】知的障害に加え、地域で暮らす潜在的な精神に障害を抱える方の利用が見込まれることから、多様な障害への対応と生活環境の整備が課題となっています。

また、障害特性により個室などの整備の必要性が求められると同時に、若年者層から高齢者層の各年齢段階での適切なサービス提供への取り組みが必要です。

【今後の取組】利用者の障害特性に応じながら、現状の施設設備の最大限の有効活用を図ります。高齢化した年齢層への適切な福祉用具の取り入れなど環境の整備を行います。

また、地域行事への参加など地域住民との関係性を深め、障害者やその家族が安心して地域生活を送れるよう支援していきます。施設運営に関しては、経営的視点を持ちながら運営していきます。

【決算】事業活動収入	51,927,191円	事業活動支出	40,505,904円
		その他の活動による支出	19,282,988円
		当期資金収支差額	-7,861,701円
		(基金への繰出14,000,000円を含む)	
		(前期末支払資金から充当)	

(3) 気仙沼市マザーズホーム

【概要】児童福祉法並びに気仙沼市障害児通所支援施設条例及び指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣に居住する障害児及び保護者の方々を対象に、児童発達支援及び放課後等デイサービスを適切に提供し、日常生活の基本動作や集団生活への適応力の向上及び保護者の養護負担の軽減や精神的安定の向上に努めました。

【事業実績】

月	児童発達支援発達支援 放課後等デイ	開 所 日 数 開 所 日 数	当月入所者数 当月入所者数	当月退所者数 当月退所者数	利用延人数 利用延人数	平均利用者数 平均利用者数
4	16	20	3	0	94	4.7
	16	25	5	0	146	5.8
5	16	19	0	0	95	5.0
	16	23	0	0	133	5.8
6	16	22	0	0	94	4.3
	16	26	0	0	172	6.6
7	16	20	0	0	89	4.5
	16	22	0	0	132	6.0
8	16	21	0	0	70	3.3
	15	22	0	1	119	5.4
9	17	20	1	0	96	4.8
	15	24	0	0	169	7.0
10	21	20	4	0	108	5.4
	15	25	0	0	145	5.8
11	24	20	3	0	108	5.4
	15	24	0	0	153	6.4
12	24	19	0	0	129	6.8
	15	23	0	0	137	6.0
1	25	19	1	0	112	5.9
	15	23	0	0	141	6.1
2	26	19	1	0	116	6.1
	15	23	0	0	134	5.8
3	21	21	0	5	121	5.8
	12	26	0	3	158	6.1
計	238	240	13	5	1,232	5.2
	181	286	5	4	1,739	6.1
前年度		240	11	2	1,084	4.5
		287	2	0	1,524	5.3

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年4月20日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
4月21日	事故防止対策委員会	気仙沼社協本所
5月10日	第1回 特別支援教育推進委員会	気仙沼市教育委員会
5月18日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
5月20日	宮城県障害児通所施設連絡協議会施設長研修会	仙台市たんぽぽホーム
5月24日	第1回 特別支援教育コーディネーター協議会	気仙沼市教育委員会
5月31日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会①	本吉保健福祉センターいこい
6月3日	自閉症研修会	気仙沼支援学校
6月11日	東北地区発達支援連絡協議会総会及び研修会	仙台メディアテーク
6月17日	事故防止対策委員会	気仙沼社協本所
6月21日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会②	本吉保健福祉センターいこい
6月22日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
6月27日	気仙沼市手をつなぐ育成会連合総会	気仙沼市九条小学校
7月3日	気仙沼市社会福祉協議会職員研修	老人福祉センター福寿荘
7月12日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会③	本吉保健福祉センターいこい
7月12日	高次脳機能障害者支援事業県域研修会	気仙沼保健所
7月15日	障害児指定通所支援施設等研修会	宮城県庁
7月20日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
7月30日	気仙沼の発達を考える会研修会	健康管理センターすこやか
8月17日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	気仙沼保健福祉事務所
8月18日	ユニバーサルデザインについて	気仙沼南中学校
8月23日	気になる子の保護者支援	気仙沼支援学校
	子どもの言葉・発音の課題と考え方	気仙沼支援学校

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
9月1日	福祉施設防犯講習会	ワンテン庁舎
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月9日	アセスメント技術を高める研修会	エルソーラ仙台
9月13日	障害のある人の卒業後の生活	めぐみキッズハウス
9月21日	気仙沼市障害児就学指導委員会	気仙沼市教育委員会
9月21日	障害福祉課課内研修会	社協本所
9月26日	卒業生事例発表及び進路講演会	気仙沼支援学校
9月27日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会④	本吉保健福祉センターいこい
9月30日	気になる子への具体的支援のあり方について	気仙沼市総合体育館
10月2日	食べる機能発達とお口の管理のポイント	気仙沼市マザーズホーム
10月4日	障害のある人と家族の支援の形	気仙沼保健福祉事務所
10月7日	集団における発達障害児の理解	気仙沼保健福祉事務所
10月11日	しょうがい児の性教育について	気仙沼市中央公民館
10月14日	アンガーマネジメントフロー理論を学ぶ	宮城県船形コロニー
10月18日	障害福祉課課内研修会	気仙沼社協本所
11月14日	福祉施設総合防災研修会	気仙沼市ワンテン庁舎
11月18日	事故防止対策委員会	気仙沼社協本所
11月25日～29日	全国発達支援通園事業連絡協議会全国大会	全国発達支援通園事業連絡協議会
11月30日	コーディネーター連絡協議会	気仙沼市教育委員会
12月13日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会⑤	本吉保健福祉センターいこい
平成29年1月23日	松岩地区津波避難計画 第1回ワークショップ	気仙沼市松岩公民館
1月24日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会⑥	本吉保健福祉センターいこい
1月27日	気仙沼地域障害者支援セミナー	気仙沼保健福祉事務所
1月27日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会⑦	本吉保健福祉センターいこい
2月1日	松岩地区津波避難計画 第2回ワークショップ	気仙沼市松岩公民館
2月9日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会⑧	本吉保健福祉センターいこい
2月18日	子育ての支援者が元気でいるために	気仙沼市民健康管理センター
2月20日	コーディネーター連絡協議会	気仙沼市中央公民館
2月21日	南三陸・気仙沼障害通所事業所合同研修会⑨	本吉保健福祉センターいこい
3月2日	人と接する仕事はなぜ疲れるのか	気仙沼市中央公民館
3月2日	松岩地区津波避難計画 第3回ワークショップ	気仙沼市松岩公民館

【成果】一日の利用人数の定員を児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業ともに10名に増員しました。

その児童発達支援事業においては、年齢や障害別にグルーピングを行い、日々のスケジュールを見直し、活動を展開しました。それにより、一人ひとりのお子さんの特性を理解し、丁寧な支援に繋がりました。

放課後等デイサービス事業においては、個人の週平均利用日数が3日となり、長期目標を立て、活動に取り組み成果を上げることができました。

また、11月より土曜日の営業時間を延長したことにより、自立に向けた取り組みを個々の状態に合わせて支援する事ができました。

【課題】児童発達支援事業では、保護者のニーズにより利用形態が様々になりました。このことにより、定期的な保護者向けの勉強会の開催が困難な状況になりました。また、入所時期が様々であるために、継続児と新入児への細かな配慮が必要になりました。適切な支援を行うため、環境を整えることや職員の資質向上が求められています。

放課後等デイサービス事業では、各学校へ同時刻での送迎が増え、支援車両を隣接施設より借用し、児童発達支援事業の職員も送迎時に加わる体制で対応しています。事業ごとに職員体制を整えていましたが、定員の増員・利用回数の増加に伴い、職員の業務負担が増えています。

【今後の取組】利用形態の変化に伴い、職員間での情報共有を十分に図り、個々に合ったサービスの提供が求められることから、保護者向けの勉強会を定期的に開催しながら、丁寧な療育に取り組めます。

また、小学校や他事業所、保育所や幼稚園との連携を図りながら、新規事業の基盤整備を図ります。

【決算】

事業活動収入	31,067,176円	事業活動支出	29,010,935円
その他の活動収入	647,920円	その他の活動支出	946,368円
		当期資金収支差額	1,757,793円

(4) 指定特定相談支援事業
(松峰園相談支援センター)

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう利用者の心身の状況に応じて、適切な福祉サービスが総合的かつ効果的に提供されるよう指定計画相談支援の提供を図りました。

【事業実績】

月	利用計画作成者数
4	4
5	1
6	20
7	5
8	4
9	18
10	1
11	3
12	19
1	3
2	2
3	12
計	74

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年11月19日	宮城・仙台相談支援従事者内部研修	気仙沼市松岩公民館

【成果】気仙沼市から依頼を受け、74名のサービス等利用計画及びモニタリングを行い適切なサービス提供に結びつけました。気仙沼市や他の事業所と連絡調整を行い連携機能が高まりました。

また、相談支援従事者の内部研修に出席するなど情報収集に努めました。

【課題】利用者及び保護者の要望に対応しながら各種サービスを利用計画に盛り込むとともに、利用希望の事業所見学を実施するなど最新情報の提供が必要です。

【今後の取組】気仙沼市及び他事業所との連携を密にし、新しい社会資源の開拓をしながら適切な計画相談支援を行います。

【決算】 事業活動収入 1,470,710円 事業活動支出 1,449,874円
当期資金収支差額 20,836円

(5) 指定共同生活援助事業（介護サービス包括型）
（グループホーム「つばさ」）

【概要】障害者総合支援法に基づき、利用者の自立と社会経済活動への参加を促進するため地域で共同して日常生活を円滑に営むことができるよう、利用者の心身の状況に応じて、日常生活の援助を適切に行いました。

【事業実績】

月	在籍者数	開 所 日 数	当月入所者数	当月退所者数	利用延人数	平均利用者数
4	4	23	0	0	73	3.2
5	4	18	0	0	63	3.5
6	4	22	0	0	77	3.5
7	4	20	0	0	71	3.6
8	4	19	0	0	67	3.5
9	4	22	0	0	79	3.6
10	4	21	0	0	78	3.7
11	4	23	0	0	85	3.7
12	4	22	0	0	73	3.3
1	4	19	0	0	73	3.8
2	4	21	0	0	80	3.8
3	4	25	0	0	93	3.7
計	44	233	0	0	833	4

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な行事・研修会等	開催場所
平成28年4月29日	余暇支援、昼食、ドライブ	陸前高田方面
5月14日	余暇支援、昼食、ボウリング	さくらボウル
7月16日	余暇支援、昼食、買物	市内
8月11日	余暇支援、昼食、買物	本吉町
9月1日	防犯研修会	市ワッペン庁舎
9月17日	余暇支援、昼食、ドライブ	南三陸町方面
10月8日	余暇支援、昼食、買物	市内
11月19日	余暇支援、昼食、ボウリング	さくらボウル
11月23日	調理体験	ホーム内
12月23日	余暇支援、昼食、買物	市内
平成29年2月11日	余暇支援、昼食、買物	千厩方面
2月24日	世話人研修	松峰園
3月18日	余暇活動支援	市内
3月14日	平成28年度記念講演会	気仙沼市民会館

【成果】利用者が4人で世話人も通常の2人体制となりホームでの生活にも慣れ、地域に溶け込み安定した生活が送れるようになりました。

【課題】利用者の定期的な通院支援や健康診断の付添いなど、健康管理に配慮した支援が必要となってきています。

【今後の取組】グループホームを継続的に利用できるよう働きかけを行うとともに、きめ細やかなサービス提供に努めます。

【決算】事業活動収入 4,916,151円

事業活動支出 4,418,452円

当期資金収支差額 497,699円

9. 居宅介護事業

【概要】障害者総合支援法に基づき、障害をもった方が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、関係機関との連携を密にし、心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画によるサービス提供に努めました。

(1) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【事業実績】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	4	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4	44	59
回	30	29	34	34	33	13	11	11	34	30	35	39	333	475

【成果】虐待防止に関する内部研修やヒヤリハットの内部検討を全職員で行い、スキルアップが図られました。

(介護報酬目標額達成率 89.9% 前年度 123.5%)

【課題】利用者へのサービス提供の変更に対応できるだけの職員体制にありません。

【今後の取組】職員体制を整備し、事業の趣旨である、利用者本人が安心して日常生活や社会生活ができるよう支援します。

【決算】 事業活動収入 1,642,190 円 事業活動支出 2,000,882 円 当期資金収支差額 -358,692 円

(2) 訪問介護ステーションからくわ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	8	7	9	8	9	7	8	7	7	8	7	7	92	77
回	25	27	27	27	26	27	27	25	22	26	23	23	305	236

【成果】支援計画に基づき、利用者及び家族の意向に沿ったサービス提供ができました。居宅介護に加え、同行援護の利用も増加傾向にあります。

(平成 28 年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 125% 前年度 187%)

【課題】職員の人員確保ができないため、利用者の希望時間に応えられない場合があります。また、利用者本人の体調で訪問中止となりサービス提供に繋がらない場合があります。

【今後の取組】利用者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、各関係機関と連携を密にし、事故防止対策と緊急時対応が迅速にできる体制作りに努めてまいります。また、各種研修を受講し、サービスの質の向上を図ります。

【決算】 事業活動収入 1,227,530 円 事業活動支出 335,896 円 当期資金収支差額 891,634 円

(3) ヘルパーステーションもとよし

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	5	6	5	6	6	6	5	5	6	6	5	5	66	79
	回	236	244	189	245	245	235	221	242	240	243	214	241	2795	3132

【成果】思いやりの気持ちを忘れずに、利用者とのコミュニケーションを大事にしながら、障害を持った方の心身の特性と能力を踏まえた自立生活支援に努めました。また、より質の高いサービス提供を目指し、障害福祉課内研修にも参加し、より理解を深め少しでも寄り添えるよう努めました。

【課題】職員2名体制で一日3回訪問している重度身体介護を必要とする利用者がいますが、職員の平均年齢の上昇に伴い、疾病や怪我等により安定したサービス提供体制が確保できず、今後のヘルパー育成を含めた提供体制の再構築及び中途障害の方とのコミュニケーションが課題となっています。また、利用者の8割が独居世帯なので地域連携も不可欠です。今年度も、利用者の一人が65歳になり、介護保険適用になりましたが、来年度も1名が同様に障害枠より移行となります。

【今後の取組】住み慣れた我が家で自分らしく暮らしていきたいという利用者と家族の願いの実現に向けた居宅介護サービス提供体制を確立し、一人ひとりのニーズに合わせた丁寧なサービス提供ができるように、引き続きコミュニケーションを図っていきます。

【決算】事業活動収入 10,168,774 円、事業活動支出 10,168,774 円、当期資金収支差額 0 円

10. 地域生活支援事業

【概要】障害者総合支援法に基づく気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供しました。

(1) 訪問入浴サービスからくわ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年
人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
回	9	8	7	5	6	9	8	8	7	7	7	8	89	76

【成果】各種研修の参加や職員全員による利用者支援会議での検討等により、ケア手法を確認し、利用者及び家族の意向に沿ったサービス提供ができました。

(平成28年度 障害福祉サービス等事業収入目標額達成度 111% 前年度 95%)

【課題】職員不足もあることから、早期の職員補充が必要です。

【今後の取組】地域の医療、福祉関係機関との連携を大切にし、良質なサービスの提供を心掛けてまいります。また、引き続き事故防止と感染予防の徹底に努めます。

【決算】 事業活動収入 1,112,500 円 事業活動支出 942,503 円 当期資金収支差額 169,997 円

(2) 訪問入浴サービスもとよし

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
利用	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
	回	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	5	48	53

【成果】限られたスタッフでの対応となっていますが、スタッフ間での検討や共通認識を持ちケアできるよう面密な申し送りを行い、ケア提供に努めました。また、コミュニケーションを図りながら利用者及び家族の心身両面の変化に注視し、ゆったりと気分良い時間を過ごしていただけるよう、希望に沿って女性スタッフ3名で対応しました。家族負担の軽減と他職種連携に努めました。

【課題】利用者ニーズに的確に応えていくことが求められることから、サービス提供に2時間近く要する現状です。少しでも時間短縮できるようにと、現在片付け時に他の職員（男性）も訪問しています。ただ、毎回は難しいことから双方のバランスを取ることが課題です。

【今後の取組】利用者や家族とのコミュニケーションを大切にし、他職種との情報共有と連携を密にしながら、チームケアに前向きに取り組んでいきます。現在の利用は1名ですが、今後希望された方に安心して利用していただけるように職員の資質向上や障害に対しての各研修会などに積極的に参加して技術向上に努めていきます。

【決算】 事業活動収入 600,000 円、事業活動支出 600,000 円、当期資金収支差額 0 円

1 1. 在宅福祉事業

事業名	内 容
移送サービス事業	【概要】 家庭外への移動困難者について、リフト付ワゴン車の運行による移送や車両の貸出を行うことで社会生活への参加促進を図りました。 【実績】 移送利用：0件 貸出利用：16件 (前年度 移送利用：0件 貸出利用：16件) 【成果】 市外の病院へ入退院のため利用した方以外は、上半期同様定期的な通院のための利用がほとんどでした。社協だよりにて運転ボランティアの募集をしたところ、新規ボランティア1名の登録がありました。 【課題】 利用世帯の声として、装備品のストレッチャーについて、対象者をベッドから移乗する際、高さ調節ができるものであれば、介助者の負担が軽減し、かつ、安全性の向上に繋がるのではないかという意見をいただきました。また、運転ボランティアに関しては、人材確保が課題となっています。 【今後の取組】 利用者の声を検証するとともに、事業の周知と運転ボランティアの募集を定期的に行いながら、当面は、現行どおり行います。
ふれあいのまちづくり事業サービス区分	【決算】 事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円
在宅ふれあい型交流事業	【概要】 虚弱な一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯との交流を目的にふれあい型の食事サービス・お茶のみ会等へ補助金の交付を行いました。地域や季節によって、配食と会食の形態があります。 【実績】 利用者延べ：1, 524人 【成果】 ボランティア団体と地域高齢者等、参加者同士の交流や社会参加の場となっているようです。また、前年度に比べ利用者の増加もみられ、一定の成果を上げていると思われます。 【課題】 実施団体が増えない現状があります。また、団体の人員不足や活動場所の確保も課題となっています。 【今後の取組】 市内全域で高齢者等への交流支援事業が実施できるよう、幅広い周知を行いながら団体への側面的な支援を行います。
老人福祉活動事業サービス区分より支出	【決算】 事業活動収入 816,200 円 事業活動支出 888,736 円 当期資金収支差額 -72,536 円 (前期末支払資金残高から充当)
安否確認訪問サービス事業	【概要】 大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターの協力を得て、常に見守りを必要とする世帯に対し、乳酸菌飲料の週3回（月・水・金）の配達を通しての声掛け訪問による安否確認を実施しました。 【実績】 利用者：28人 利用延本数：2, 532本 【成果】 緊急対応となるケースは有りませんでした。また、本吉の一部地域を除き、市内全域のサービス提供が可能となりました。

	【課題】地域によって提供する曜日が異なるため、提供日の統一が課題となっています。 【今後の取組】大船渡ヤクルト販売㈱さんらいずセンターと連携しながら、実施します。 【決算】事業活動収入 0 円 事業活動支出 87,111 円 その他の活動収入 87,111 円 当期資金収支差額 0 円
介護機器・福祉用具貸出事業 ふれあいのまちづくり事業サービス区分	【概要】所有する福祉用具の貸出により、要介護にある者の在宅生活を支援するとともに、ボランティア活動や福祉教育活動の積極的な企画や参加を促進しました。 【実績】 延べ貸出数 気仙沼 車いす 6 台 ベッド 0 台 本吉 車いす 25 台 ベッド 0 台 【成果】学校への貸出により福祉教育活動に使用されたほか、個人への貸出により在宅生活の一助となりました。また、ボランティアグループや地域組織への貸出により行事やイベントに対し要介護者が参加することができました。 【課題】貸出用具として介護用電動・手動ベッド、ベッドマッドレスとありますが、本吉支所以外は東日本大震災で物品の一切を流失しており、車椅子以外の上記物品については、現在は貸し出せる状態にありません。貸出用具の見直しが必要です。 【今後の取組】当面は現行のとおり実施します。 【決算】事業活動収入 3,278,922 円 事業活動支出 5,453,622 円 その他の収入 2,174,700 円 当期資金収支差額 0 円

12. 指定介護保険事業

(1) 一景島在宅介護支援センター

【概要】利用者が、その人らしく安心して日常生活を維持できるように、利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適切なサービス提供の充実強化に努めました。また、主任介護支援専門員配置等による加算取得に当っては、法令遵守の相互チェックにより介護報酬の適正請求を実施しました。

【事業実績】

月	事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	12	24	36	19	13	13	11	6	98
5	人	0	12	23	35	18	14	14	11	6	98
6	人	1	12	22	34	17	14	14	12	7	99
7	人	1	11	21	32	17	15	14	12	6	97
8	人	1	12	22	34	17	15	14	13	5	99
9	人	1	12	21	33	21	15	14	13	6	103
10	人	1	13	21	34	21	11	15	14	6	102
11	人	1	9	23	32	21	10	14	16	6	100
12	人	1	9	22	31	20	8	13	17	8	98
1	人	1	9	24	33	19	9	11	19	6	98
2	人	1	9	24	33	16	11	9	15	7	92
3	人	1	10	22	32	17	12	8	16	7	93
計	人	10	130	269	399	223	147	153	169	76	1,177
前年度	人	0	117	266	383	297	153	153	140	77	1,203

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成28年4月14日	介護支援専門員情報交換会	市民健康管理センター
4月16日	介護支援専門員研修会	気仙沼市ワテンビル
5月16. 26. 30日	介護支援専門員更新研修	県庁、フォレスト仙台
6月1. 13. 20. 27. 29日	主任介護支援専門員更新研修	フォレスト仙台
6月16. 21. 22日	介護支援専門員専門研修Ⅰ	エレクトローン仙台ほか
7月12日	高次脳機能障害者支援事業圏域研修会	気仙沼保健福祉事務所
7月13. 14. 15. 26. 27日	介護支援専門員専門研修Ⅰ	東北福祉大仙台駅東口校
7月20日	居宅介護支援集団指導	気仙沼保健福祉事務所
7月29日	認知症研修集会	気仙沼プラザホテル
10月 8日	医療講演会	気仙沼保健福祉事務所
10月18日	介護支援専門員研修会	気仙沼市ワテンビル
11月18日	ケアマネジャー情報交換会	気仙沼保健福祉事務所
12月 5日	介護支援専門員実務研修実習担当者研修	県庁
12月 7日	気仙沼認知症カンファレンス	気仙沼プラザホテル
12月19日	復興期の心のケア研修会	気仙沼保健福祉事務所

【成果】各種専門研修を受講し、職員のスキルアップや資質の向上に繋がりました。

(平成28年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比): 74.3% 平成27年度: 81.7%)

【課題】制度改正により各種介護サービスの基準等の制約が増えており、また、介護人材不足でサービスが利用できない場合もあり、ケアマネジメントがより難しくなっています。

【今後の取組】複雑化する各種サービス基準に対応できるように職員の資質の向上を図ります。

【決算】 事業活動収入	14,867,790 円	事業活動支出	13,066,852 円
その他の活動収入	0 円	施設整備等支出	0 円
		その他の活動支出	296,400 円
		当期資金収支差額	1,054,538 円

(2) 燦さん館ケアプランセンター

【概要】利用者が住み慣れた自宅で安心して生活できるように、適切なケアマネジメントの実施及び積極的に多職種との連携に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	8	22	30	25	22	15	14	4	80	110
5	人	8	22	30	22	22	17	13	5	79	109
6	人	9	26	35	20	21	16	15	5	77	112
7	人	10	26	36	21	23	14	16	5	79	115
8	人	9	25	34	21	23	14	16	6	80	114
9	人	9	26	35	22	27	11	15	6	81	116
10	人	7	23	30	26	27	12	16	5	86	116
11	人	6	22	28	25	27	13	16	5	86	114
12	人	6	23	29	24	28	9	16	5	82	111
1	人	6	25	31	24	25	10	12	5	76	107
2	人	6	26	32	21	27	9	12	5	74	106
3	人	7	25	32	20	27	7	12	5	71	103
計	人	91	291	382	271	299	147	173	61	951	1,333
前年度	人	106	273	379	308	289	178	231	76	1,082	1,461

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年		
5月16日, 19日, 24日	主任介護支援専門員更新研修	県庁、県建設会館
6月3日, 5日, 7日	主任介護支援専門員更新研修	県建設会館
6月10日	多職種連絡会「訪問リハビリテーションについて」	燦さん館内
6月24日	認知機能と生活&リハビリテーション	市民健康管理センター
6月26日, 28日	主任介護支援専門員更新研修	県建設会館
7月20日	事業所集団指導	県保健福祉事務所
7月29日	認知症研究集会	ホテル観洋
9月6日	苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
10月18日	要支援者のケアプランについて	ワンテン庁舎
11月29日, 30日	普通救命法講習	燦さん館内
12月5日	介護支援専門員実習指導者研修	県庁
12月9日	ストレス・疲れをためない介護を考える研修会	県保健福祉事務所
12月6日	多職種連絡会「高齢者虐待について」	燦さん館内
平成29年 3月21日	権利擁護研修会	ワンテン庁舎

【成果】各種研修に参加することで、より専門的な視点からケアマネジメントを実践することができ、利用者の満足度アップに繋がりました。

(平成28年度 介護報酬目標達成度81% 前年度90%)

【課題】前年度より利用者が減っていることから、地域包括支援センターや各種機関と連携し新規利用者の確保に努める必要性があります。

【今後の取組】新規利用者の確保に努めます。また、一人暮らしや老夫婦世帯、認知症で生活能力が低下している利用者が増えていることから、地域住民等インフォーマルサービスの開拓や連携体制を構築します。

【決算】事業活動収入14,450,580円

事業活動支出 17,671,455円
 その他の活動支出計 1,248,564円
 当期資金収支差額 -4,469,439円
 (前期支払資金残高から充当)

(3) 津谷居宅介護支援事業所

【概要】利用者の立場に立ち、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支えるケアマネジメントの視点を常に意識し、関係機関と連携しながらサービス提供に努めました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4 人	27	43	70	43	41	22	29	15	150	220
5 人	29	41	70	42	41	23	28	13	147	217
6 人	30	41	71	41	43	24	25	11	144	215
7 人	28	40	68	41	44	25	25	14	149	217
8 人	23	43	66	44	44	25	25	14	152	218
9 人	24	38	62	47	43	26	21	13	150	212
10 人	22	40	62	51	43	26	20	13	153	215
11 人	21	39	60	50	42	22	22	11	147	207
12 人	21	40	61	47	40	21	20	9	137	198
1 人	20	40	60	47	38	21	22	11	139	199
2 人	16	42	58	46	38	21	24	13	142	200
3 人	17	39	56	47	38	20	21	14	140	196
計 人	278	486	764	546	495	276	282	151	1,750	2,514
前年度 人	322	481	803	552	520	258	314	188	1,832	2,635

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年4月16日	平成28年度介護支援専門員等研修会「総合支援事業の活用とマネジメント」	ワン・テン庁舎
4月19日・11月18日	平成28年度宮城県ケアマネ協会気仙沼支部ケアマネ情報交換会	すこやか
5月～7月	生活支援・障害福祉課課内研修	気仙沼社協本所
6月16日	平成28年度宮城県ケアマネ協会気仙沼支部総会	すこやか
6月16日～7月27日（内8日間）	平成28年度介護支援専門員専門研修Ⅰ	東北福祉大仙台駅東口キャンパス等
7月3日	社会福祉協議会職員研修「社協らしい住民支援と福祉サービス」	老人福祉センター福寿荘
7月29日	宮城県認知症疾患センター第8回認知症研究集会	三峰病院
9月6日	平成28年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市 アエル
9月9日	がん患者と家族への精神的ケアに関する研修会	気仙沼保健福祉事務所
9月13日	平成28年度認知症キャラバンメイト養成研修	宮城県大崎合同庁舎
10月18日	平成28年度介護支援専門員研修会「要支援者のケアプランについて」	ワン・テン庁舎
10月30日	在宅医療講演会	中央公民館
11月24日	平成28年度第2回 認知症講演会	ワン・テン庁舎
11月29日	平成28年度アルコール関連問題研修会	気仙沼保健福祉事務所
12月5日	平成28年度介護支援専門員実務研修指導者研修	宮城県庁
12月9日	人権啓発事業「ストレス・疲れをためない介護を考える研修会」	気仙沼保健福祉事務所
12月19日	平成28年度復興期心のケア研修会	気仙沼保健福祉事務所
2月25日	がん市民講座「笑いでがんを吹き飛ばそう」	気仙沼プラザホテル
3月10日	平成28年度本吉地域ケアマネジメント情報交換会	いこい
3月14日	被災地障害者福祉サービス創出支援事業 平成28年度記念講演会	気仙沼市民会館
毎月1回	ケアマネ定例会議	本吉公民館、いこい
毎月1回	ケアマネ定例事例検討会	気仙沼市立病院
毎月2回	本吉病院医療連携研修会	気仙沼市立病院
毎月1回	本吉支所定例会議	本吉支所
毎月1回	事故防止対策委員会	本所
毎月1回	職員会議	津谷居宅支援事業所
毎週1回	事例検討会議、伝達研修	津谷居宅支援事業所

【成果】前年度に引き続き利用者との信頼関係を構築しながら、一人ひとりに丁寧な寄り添い、常に自立支援に向けたサービス提供に努めました。各自が研修計画を立案したことで、具体的な目標を持ち業務に取り組むことができました。

【課題】一人暮らし高齢者で認知症やアルコール依存の利用者が増加傾向にあることと、認知症の方とその介護者、全介助が必要な要介護者への支援方法について、それぞれの環境等を踏まえたうえでの対応が課題となっています。

【今後の取組】様々な担当ケースの支援方法について、常に職員間で声に出し手を止め、きちんと向き合って話し合いができる職場づくりを行ないます。また、困難事例も増加していることから関係者と必要な情報を共有し、課題検討を通してスキルアップに繋げていきます。

なお、特定事業所加算算定事業所の意味を常に念頭に置き、振り返りと確認を行い業務に携わります。

【決算】事業活動収入	34,600,160円	事業活動支出	29,441,104円
その他の活動による収入	4,562,876円	その他の活動による支出	2,445,256円
		当期資金収支差額	7,276,676円

(4) 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所

【概要】要介護又は要支援にある利用者が、住み慣れた地域や在宅で自分らしく、安心して生活できるように、適切な介護計画を策定し、利用者等からのモニタリングにより、よりきめ細やかなサービス提供に努めました。

事業の運営及びサービス提供に当たっては、常に法令遵守に配慮しました。

【事業実績】

月		事業対象者	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人		8	12	20	5	2	5	2	2	16	36
	回		53	68	121	58	32	119	28	61	298	419
5	人		7	12	19	5	2	5	0	2	14	33
	回		47	78	125	66	37	124	0	63	290	415
6	人		7	13	20	5	1	5	2	2	15	35
	回		48	85	133	59	19	120	8	48	254	387
7	人	1	7	13	20	4	1	6	2	1	14	35
	回	8	49	87	136	54	20	138	29	41	282	426
8	人	1	7	13	20	4	1	6	2	1	14	35
	回	6	51	95	146	54	17	132	26	37	266	418
9	人	1	8	11	19	6	1	6	1	2	16	36
	回	6	57	74	131	59	12	136	22	39	268	405
10	人	2	7	11	18	5	1	6	2	1	15	35
	回	6	54	82	136	49	16	138	29	37	269	411
11	人	2	8	10	18	5	1	5	3	1	15	35
	回	7	67	64	131	55	15	119	16	37	242	380
12	人	2	7	11	18	5		5	3	1	14	34
	回	11	64	82	146	53		125	44	45	267	424
1	人	2	6	10	16	5		5	3	4	17	35
	回	11	51	66	117	50		128	77	41	296	424
2	人	2	6	9	15	6	1	5	2	1	15	32
	回	9	43	51	94	80	4	110	63	37	294	397
3	人	2	6	8	14	7	1	5	4	1	18	34
	回	11	44	56	100	127	5	125	73	39	369	480
計	人	15	84	133	217	62	12	64	26	19	183	475
	回	75	628	888	1,516	764	177	1,514	415	525	3,395	4,986
前年度	人	0	84	130	214	96	51	60	32	44	283	497
	回	0	487	695	1,182	839	1,186	1,008	430	1,195	4,658	5,840

【研修・会議等参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 会 等	開 催 場 所
平成28年7月22日	平成28年度集団指導（訪問系サービス）	県気仙沼保健福祉事務所
8月17日	障害福祉サービス事業者集団指導	気仙沼市ワンテンビル
10月6日	認知症をよく知る研修会	県気仙沼保健福祉事務所
10月27日	平成28年度介護サービス事業者集団指導	気仙沼市ワンテンビル
10月30日	在宅医療講演会	中央公民館
11月12日	医療系福祉系専門職スキルアップ研修	市民健康管理センター

【成果】要支援利用者へのサービス提供頻度が高くなりました。要介護利用者数は減少した反面、高齢化に加え認知症の進行で、単身又は夫婦のみの利用者へのサービス提供が難しいケースが増えてきましたが、担当介護支援専門員や地域包括センター職員との緊密な連携により、安心して在宅生活を送れるようなサービスを提供できました。

（平成28年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：80.8% 平成27年度：80%）

【課題】訪問介護員の確保ができず、新規利用希望に応えられない状況が続いています。

要介護から要支援に認定となる利用者が増加し、介護報酬の減額に影響しています。

【今後の取組】利用者へのサービス提供体制の整備に努めます。

【決算】 事業活動収入 15,730,361 円 事業活動支出 18,190,562 円
 その他の活動収入 0 円 施設整備等支出 0 円
 その他の活動支出 250,440 円
 当期資金収支差額 -2,710,641 円

(5) 訪問介護ステーションからくわ

【概要】一人でも多くの居宅に住む利用者に、より良い訪問介護サービスを提供して自立した生活を送ることができるよう支援に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	事業対象者	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	7	8	0	15	2	3	4	6	6	21	36
	回	42	45	0	87	9	90	94	196	98	487	574
5	人	7	7	0	14	3	3	4	6	5	21	35
	回	47	42	0	89	17	94	84	204	103	502	591
6	人	5	10	0	15	2	3	2	6	6	19	34
	回	32	53	0	85	8	92	74	190	95	459	544
7	人	4	11	0	15	2	4	2	6	6	20	35
	回	19	69	0	88	8	118	66	184	119	495	583
8	人	4	10	0	14	3	4	1	6	7	21	35
	回	24	62	0	86	14	127	3	191	177	512	598
9	人	4	9	0	13	1	4	0	6	7	18	31
	回	25	55	0	80	4	130	0	165	189	488	568
10	人	4	9	0	13	2	5	0	6	6	19	32
	回	19	53	0	72	5	137	0	170	143	455	527
11	人	4	8	0	12	1	6	1	6	7	21	33
	回	25	43	0	68	4	136	3	147	136	426	494
12	人	4	7	0	11	1	6	0	7	7	21	32
	回	26	44	0	70	4	142	0	101	134	381	451
1	人	4	8	0	12	2	5	0	5	6	18	30
	回	23	44	0	67	11	85	0	128	146	370	437
2	人	4	6	0	10	1	5	0	5	6	17	27
	回	22	31	0	53	4	77	0	114	123	318	371
3	人	4	5	1	10	1	5	0	5	7	18	28
	回	20	33	3	56	5	95	0	135	142	377	433
計	人	55	98	1	154	21	53	14	70	76	234	388
	回	324	574	3	901	93	1,323	324	1,925	1,605	5,270	6,171
前年度	人	72	119	0	191	19	14	22	113	50	218	409
	回	352	759	0	1,111	625	207	457	2,748	857	4,894	6,005

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年6月10日	唐桑地域他職種連絡会	燦さん館
6月22日	介護サービスの質の向上に関する研修会	仙台市・イズミティ21
6月24日	スキルアップ研修「認知機能と生活&リハビリテーション」	すこやか
7月12日	高次脳機能障害者支援事業圏域研修会	気仙沼保健福祉事務所
7月22日	平成28年度集団指導	気仙沼保健福祉事務所
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市・アエル
11月11日	感染症予防対策セミナー	気仙沼保健福祉事務所
11月29日	救命法研修（普通救命法研修Ⅰ）	燦さん館
12月16日	唐桑地域他職種連絡会	燦さん館
平成28.4～29.3	事故防止対策委員会（月1回）	社協本所
平成28.4～29.3	スタッフ会議（月1回）支所管理者会議（月1回）	社協唐桑支所

【成果】今年度は下半期から長期入所や入院、利用がなくなるケースが例年になく多く、実績減の要因となりましたが、訪問域を町内から旧市内へ範囲を広げたことで、利用者回数の増加に繋がりました。

また、常にチームケアを目指し、事業所としての一貫性を図り、サービス提供に努めました。

（平成28年度 介護報酬目標達成度104% 前年度91%）

【課題】介護を必要とする高齢者人口は増加していますが、支え手となる介護人材の確保が難しい状況になっています。

【今後の取組】地域や他職種と連携を図り、利用者や家族との信頼関係を築きながら良質なサービス提供に努めます。また、やりがいのある職場環境づくりと研修受講を支援します。

【決算】 事業活動収入 18,195,200円 事業活動支出 20,655,944円
施設整備等支出 216,000円
その他の活動支出 380,496円
当期資金収支差額 -3,057,240円
（前期支払資金残高から充当）

(6) ヘルパーステーションもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、利用者一人ひとりのニーズに応じた個別ケア計画に基づき、関係機関との連携の下できめ細やかなサービス提供に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	2	12	14	10	9	5	14	11	49	63
	回	10	89	99	68	111	117	263	363	922	1021
5	人	2	10	12	12	9	6	13	8	48	60
	回	11	80	91	101	139	122	341	268	971	1062
6	人	2	12	14	9	11	8	11	8	47	61
	回	8	76	84	72	147	233	306	239	997	1081
7	人	2	13	15	9	10	10	11	10	50	65
	回	12	92	104	65	162	235	300	282	1044	1148
8	人	2	13	15	10	11	10	11	11	53	68
	回	11	88	99	68	167	238	306	323	1102	1201
9	人	3	11	14	8	11	7	10	10	46	60
	回	22	70	92	61	161	143	275	315	955	1047
10	人	3	12	15	7	9	7	11	9	43	58
	回	21	77	98	53	148	168	290	280	939	1037
11	人	3	13	16	6	8	6	11	10	41	57
	回	21	78	99	43	137	176	282	200	838	937
12	人	3	12	15	5	8	6	12	12	43	58
	回	21	78	99	35	137	164	301	247	884	983
1	人	3	12	15	6	7	7	11	11	42	57
	回	21	74	95	34	97	202	300	219	852	947
2	人	2	13	15	4	7	8	10	11	40	55
	回	12	78	90	22	87	211	269	213	802	892
3	人	3	13	16	5	9	10	9	12	45	61
	回	14	85	99	32	92	219	269	225	837	936
計	人	30	146	176	91	109	90	134	123	547	723
	回	184	965	1,149	654	1,585	2,228	3,502	3,174	11,143	12,292
前年度	人	63	134	197	153	106	34	124	99	516	713
	回	325	1,112	1,437	1,320	1,450	726	3,938	4,107	11,541	12,978

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年5月19日	認知症 キャラバンメイトスキルアップ研修会	気仙沼市市役所ワン・テン庁舎
6月22日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	イズミティ21大ホール
7月7日	訪問介護の軽度者の生活援助	宮城県介護研修センター
7月20日	地域福祉推進のための権利擁護（成年後見人制度の基礎）	本所 第2会議室
7月26日	介護サービス法人連絡協議会	気仙沼市中央公民館
8月1日、8日	高齢者に生じやすい症状とケアのポイント	宮城県介護研修センター
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル
9月9日	安全運転管理者講習会	気仙沼中央自動車学校
10月27日	気仙沼市介護サービス事業者集団指導	気仙沼市市役所ワン・テン庁舎
10月30日	在宅医療講演会	気仙沼市中央公民館
11月24日	認知症講演会	気仙沼市市役所ワン・テン庁舎
平成29年2月25日	がん市民講座	気仙沼プラザホテル
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）	

【成果】前年度対比で利用者数のうち要支援は減少し、要介護が増加状態です。今年度は多様な研修に参加し、個別研修計画を立案し、計画に基づき個々に質の向上に力を入れ、利用者の新たな要望に対応できる事業所として、確かな知識と質の高い介護技術提供に努めました。

また、事業所として仕事に対する職員個々の取り組み方についてのアンケート調査を行い、思いを共有しながら新たな気持ちで介護にあたることができました。さらに災害等に備え、少しずつ災害時避難経路図作成に取り組みしました。

【課題】職員の平均年齢の上昇に伴い、体調維持と若手育成に向けた人材確保が課題です。

【今後の取組】先を見据えた事業展開をイメージしながら計画的な体制整備と併せて、選ばれる事業所となるために質の高いサービス提供ができるよう、介護手順マニュアルの見直し等により職員の資質向上を図ります。リスク管理の一環として、継続的に感染対策や災害時避難経路などに全職員で取り組みます。

【決算】事業活動収入 39,027,593円
施設整備等による収入 1,191,082円
その他の活動による収入 506,000円

事業活動支出 40,602,216円
施設整備等による支出 1,251,063円
その他の活動による支出 1,958,045円
当期資金収支差額 -3,086,649円

(前期末支払資金から充当)

(7) 訪問入浴サービスからくわ

【概要】利用者、家族の意向を尊重し質の良いサービスを提供することにより、利用者が安心して在宅生活を送ることができるよう取り組みました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	0	0	0	0	1	3	5	5	14	14
	回	0	0	0	0	3	9	12	21	54	54
5	人	0	0	0	0	1	3	6	6	16	16
	回	0	0	0	0	4	15	27	23	69	69
6	人	0	0	0	0	1	3	8	7	19	19
	回	0	0	0	0	5	12	35	25	77	77
7	人	0	0	0	0	1	2	8	6	17	17
	回	0	0	0	0	4	6	31	23	64	64
8	人	0	0	0	0	1	1	9	7	18	18
	回	0	0	0	0	5	4	38	31	78	78
9	人	0	0	0	0	1	1	9	7	18	18
	回	0	0	0	0	4	5	35	28	72	72
10	人	0	0	0	0	2	1	8	7	18	18
	回	0	0	0	0	7	4	27	30	68	68
11	人	0	0	0	0	2	1	7	7	17	17
	回	0	0	0	0	6	5	28	31	70	70
12	人	0	0	0	0	1	2	7	7	17	17
	回	0	0	0	0	4	5	24	27	60	60
1	人	0	0	0	0	0	3	3	7	13	13
	回	0	0	0	0	0	12	13	27	52	52
2	人	0	0	0	0	0	3	3	7	13	13
	回	0	0	0	0	0	12	11	27	50	50
3	人	0	0	0	0	0	2	4	7	13	13
	回	0	0	0	0	0	10	15	31	56	56
計	人	0	0	0	0	11	25	77	80	193	193
	回	0	0	0	0	42	99	296	324	770	770
前年度	人	0	1	1	0	20	25	104	68	220	221
	回	0	1	1	0	108	159	404	286	957	958

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年6月10日	第1回唐桑地域多種職連絡会	燦さん館会議室
6月22日	介護事業所のリスクマネジメント	イズミティ21
7月3日	社会福祉協議会、職員研修 社協らしい住民支援と福祉サービス	福寿荘
7月22日	H28年度集団指導訪問系サービス	気仙沼保健福祉事務所
8月1日	H28年度介護講座	宮城県介護研修センター
8月5日	H28年度介護講座	宮城県介護研修センター
8月8日	H28年度介護講座	宮城県介護研修センター
8月10日	H28年度クレーム対応研修	フォレスト仙台2F
9月1日	H28年度福祉施設防犯講習会	ワンテン庁舎大ホール
9月6日	H28年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	アエル5F大ホール
11月11日	H28年度感染症予防セミナー	気仙沼保健福祉事務所
12月9日	H28年度人権啓発活動地方委託事業ストレス・疲れをためない介護を考える研修会	気仙沼保健福祉事務所
	スタッフ会議（随時）支所管理者会議（随時）本所管理者会議（随時）	

【成果】利用者、家族や各事業者との情報交換を頻繁に行うことで、利用者の最新の状態を確認し良質なサービス提供ができました。

(平成28年度 介護報酬目標達成率87% 前年度105%)

【課題】感染症の利用者が増加傾向にあるため、衛生管理を徹底します。また、職員の体調不良（腰痛等）が多いため、今後も健康管理に十分注意する必要があります。

【今後の取組】地域の医療、福祉関係機関と連携を常に保ち、職員の資質向上に努め、事故のないより質の高いサービスを提供できるよう努力してまいります。

【決算】 事業活動収入 9,835,250円 事業活動支出 9,688,773円
 その他の活動支出 362,616円
 当期資金収支差額 -216,139円
 44 (前期支払資金残高から充当)

(8) 訪問入浴サービスもとよし

【概要】住み慣れた地域で安心して生活できるよう、利用者や家族の意向を尊重し、関係機関と連携して、利用者が満足できるよう適切なサービス提供を行ないました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人回				1	0	4	5	9	19	19
	人回				4	0	25	19	39	87	87
5	人回				1	1	5	5	7	19	19
	人回				5	2	23	18	36	84	84
6	人回				1	1	5	6	5	18	18
	人回				4	4	26	21	31	86	86
7	人回				1	1	5	7	7	21	21
	人回				4	4	30	22	32	92	92
8	人回				1	1	5	7	8	22	22
	人回				5	4	30	26	30	95	95
9	人回				1	1	5	8	6	21	21
	人回				4	1	25	27	35	92	92
10	人回				1	0	5	8	7	21	21
	人回				4	0	21	29	30	84	84
11	人回				1	1	4	8	7	21	21
	人回				5	3	25	30	27	90	90
12	人回				1	1	4	10	6	22	22
	人回				4	4	24	41	28	101	101
1	人回				1	2	4	9	6	22	22
	人回				5	4	22	40	30	101	101
2	人回				1	2	4	9	6	22	22
	人回				4	8	20	39	35	106	106
3	人回				1	2	4	6	7	20	20
	人回				4	9	21	27	46	107	107
計	人回	0	0	0	12	13	54	88	81	248	248
	人回	0	0	0	52	43	292	339	399	1,125	1,125
前年度	人回	0	0	0	12	15	56	64	120	267	267
	人回	0	0	0	52	77	276	231	490	1,126	1,126

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年6月22日	障害児・者福祉サービスについて	本所 第2会議室
6月22日	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者等研修会	イズミティ21大ホール
7月20日	地域福祉推進のための権利擁護（成年後見人制度の基礎）	本所 第2会議室
8月1日、8日	高齢者に生じやすい症状とケアのポイント	宮城県介護研修センター
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台アエル
9月9日	安全運転管理者講習会	気仙沼中央自動車学校
9月21日	地域福祉推進のための権利擁護（成年後見人制度の概要）	本所 第2会議室
平成29年1月28日	訪問入浴スタッフ研修会	バリアフリー体験館
2月25日	がん市民講座 笑いでがんをふきとばそう	気仙沼プラザホテル
3月14日	人と接する仕事はなぜ疲れるのか	すこやか
	事業所内会議：ヘルパー会議、伝達研修（訪問介護合同で毎月開催）	

【成果】前年度対比で利用者数の減少はあるものの回数はほぼ同じでした。週1回から2回へと利用が増えた方が数名みられたことが実績に反映されました。コミュニケーションを図りながら全身状態の観察とケアを行い、利用者様やご家族の思いに寄り添いながら関わりました。

【課題】2台稼働日ができ、徐々に利用者や回数を増やすことができました。ただ現在看護師が2名であり、子育て等で急に休む場合は利用者へ急な変更をお願いし、その日どうしても都合がつかずキャンセルされた方もいました。従事しながら利用者等へ迷惑をかけてしまうのではという不安感が常にあり精神的な負担になっている現状で、よりよいサービス提供のためには職員のメンタルヘルスも重要であり、必要な職員の確保と体制整備が重要な課題です。

【今後の取組】逝去などにより現在、利用者の減少がみられます。新規の方を確保できるよう周知活動を継続し、研修への参加等にて個々の技術の向上を図りながら満足していただけるケアの継続に努めます。また、長年勤続した職員が3月に退職となり、退職前に新たな職員へ引継ぎを行いました。お互いフォローしながら、よりよいチームケアでサービス提供を行います。

【決算】事業活動収入 14,326,828円
その他の活動による収入 4,247,632円

事業活動支出 18,414,222円
その他の活動による支出 888,860円
当期資金収支差額 -728,622円
(前期末支払資金から充当)

(9) 燦さん館デイサービスセンター

【概要】要介護者・要支援者に対し尊厳ある自立支援と、家族の精神的・身体的負担の軽減に努めました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	15	20	22	21	14	10	4	71	91
	回	21	120	141	174	165	115	100	38	592	733
5	人	4	15	19	22	22	14	9	5	72	91
	回	20	106	126	154	196	114	84	41	589	715
6	人	6	18	24	19	22	13	11	5	70	94
	回	28	122	150	137	188	101	109	37	572	722
7	人	7	21	28	20	23	15	11	5	74	102
	回	28	155	183	159	182	118	113	30	602	785
8	人	6	20	26	22	22	15	12	4	75	101
	回	22	138	160	155	194	121	94	35	599	759
9	人	6	18	24	22	27	13	10	4	76	100
	回	25	153	178	162	224	108	99	37	630	808
10	人	4	18	22	26	26	14	12	4	82	104
	回	17	140	157	186	223	99	103	32	643	800
11	人	2	18	20	24	26	15	13	4	82	102
	回	8	119	127	147	214	134	108	35	638	765
12	人	3	19	22	23	26	15	11	4	79	101
	回	17	141	158	156	202	147	75	36	616	774
1	人	3	19	22	22	24	14	11	4	75	97
	回	16	127	143	137	183	125	83	32	560	703
2	人	4	21	25	19	26	12	12	4	73	98
	回	18	140	158	132	194	114	71	37	548	706
3	人	4	20	24	19	25	12	12	4	72	96
	回	9	151	160	155	225	139	73	35	627	787
計	人	54	222	276	260	290	166	133	51	901	1,177
	回	229	1,612	1,841	1,854	2,390	1,435	1,111	425	7,216	9,057
前年度	人	58	192	250	258	260	174	175	45	912	1,162
	回	258	1,369	1,627	1,798	2,067	1,510	1,602	492	7,469	9,096

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年4月18日	市介護サービス法人連協議会第2回管理者会議	すこやか
6月10日	第1回唐桑地域多種職連絡会	燦さん館研修室
6月22日	介護事業所のリスクマネジメント	イズミティ21
6月24日	スキルアップ研修「認知の機能と生活&リハビリテーション」	すこやか
7月3日	社協職員研修～社協らしい住民支援と福祉サービス～	福寿荘
7月25日	集団指導（通所系サービス）	市保健福祉事務所
8/1・8/5・8/8	介護講座	県介護研修センター
8月9日	認知症の中核症状と行動・心理症状の理解～基礎を学ぶ～	県介護研修センター
8月10日	クレーム対応研修	フォレスト仙台
9月1日	福祉施設防犯講習会	ワンテン庁舎
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	アエル5
9月9日	安全運転管理者・副安全運転管理者 講習	気仙沼中央自動車学
10月1日	H28第一回通所事業所等職員研修	ワンテン庁舎
11月11日	H28感染症予防セミナー	市保健福祉事務所
11月12日	H28第二回通所事業所等職員研修	すこやか
11月14日	H28福祉施設総合防災研修会	ワンテン庁舎
11月17日		980 唐桑荘
12月9日	H28人権啓発活動地方委託事業 ストレス、疲れをためない介護を考える	市保健福祉事務所
平成29年2月16日	事業所間の意見交換会	すこやか
3月15日	第二回ことばの友の会 失語症及び構音障害の方へ	すこやか
3月24日	H28高齢者・障害者権利擁護研修会	山台シルバーセンター
	※スタッフ会議（随時）支所管理者会議（随時）事故防止対策委員会（随時）	

【成果】内外の研修参加と事業所内の職員会議で各自研修内容の報告をすることにより、職員一人ひとりが仕事に対する自覚、責任を意識するようになりました。

自覚と責任を持って業務に取り組んだ結果、介護・車輛事故等もなく業務を遂行することができました。

(平成28年度 介護報酬目標達成率 99.7% 前年度 99.6%)

【課題】人員は補充できましたが、体調不良（腰痛等）を訴える職員が多い状態です。今後も職員の体調管理に十分に注意し業務に取り組めます。

【今後の取組】本会の有する連携・調整機能を発揮し、地域に密着した質の高いサービス提供に取り組めます。

災害等の緊急時の対応については、職員一人ひとりが迅速に対応できるように積極的に講習会等に参加し、利用者の安全・安心の確保に取り組む、地域から選ばれる事業所を目指します。

【決算】	事業活動収入	72,353,819円	事業活動支出	61,623,667円
			施設整備等支出	1,362,980円
			その他の活動支出	23,827,762円
	(運用基金積立金、施設整備基金積立金への繰出22,000,000円を含む。)		当期資金収支差額	-14,460,590円
				(前期末支払資金から充当)

(10) 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター

【概要】通所による各種介護サービスを提供し、生活の助長、心身機能の維持向上と介護者の精神的、身体的負担の軽減に努め指定管理施設としても施設の適正な維持管理を行いました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人 5	5	10	6	7	8	7	4	32	42
	回 25	45	70	42	101	67	75	41	326	396
5	人 4	5	9	5	8	7	7	4	31	40
	回 22	37	59	44	95	61	58	37	295	354
6	人 6	5	11	5	7	6	7	4	29	40
	回 27	38	65	43	88	55	64	37	287	352
7	人 5	4	9	4	8	6	5	5	28	37
	回 23	31	54	39	108	54	57	47	305	359
8	人 4	4	8	3	8	5	6	5	27	35
	回 21	29	50	39	106	53	60	53	311	361
9	人 4	4	8	4	9	4	6	5	28	36
	回 21	27	48	47	111	38	62	57	315	363
10	人 3	4	7	6	9	2	7	5	29	36
	回 17	28	45	91	82	21	73	50	317	362
11	人 3	4	7	6	7	2	7	4	26	33
	回 16	30	46	94	66	20	71	38	289	335
12	人 3	5	8	6	6	2	6	5	25	33
	回 17	33	50	96	62	20	68	49	295	345
1	人 3	4	7	6	5	2	7	5	25	32
	回 15	26	41	93	61	17	55	43	269	310
2	人 3	4	7	5	5	3	7	6	26	33
	回 16	24	40	80	60	21	59	51	271	311
3	人 3	3	6	6	6	3	8	5	28	34
	回 17	21	38	99	74	36	70	33	312	350
計	人 46	51	97	62	85	50	80	57	334	431
	回 237	369	606	807	1,014	463	772	536	3,592	4,198
前年度	人 38	38	76	119	105	62	97	41	424	500
	回 249	299	548	1,109	1,089	544	1,115	192	4,049	4,597

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年6月24日	平成28年度保健・医療・福祉系職員等対象スキルアップ研修	すこやか
7月3日	平成28年度気仙沼市社会福祉協議会職員研修	老福センター福寿荘大広間
7月25日	介護保険サービス事業者等集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
8月4日	障害児施設(マザーズホーム)及び隣接施設合同防犯訓練	マザーズホーム
8月19日	介護予防伝達講座	すこやか
9月1日	福祉施設防犯講習会	ワンテンビル
9月6日	平成28年度福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
10月1日	平成28年度通所事業所等職員研修①	ワンテンビル
10月3日	福祉サービスの苦情解決について(内部研修)	福寿荘デイサービス
11月12日	平成28年度医療・福祉系専門職スキルアップ研修会	すこやか
11月12日	平成28年度通所事業所等職員研修②	すこやか
11月14日	平成28年度福祉施設総合防災研修会	ワンテンビル
12月7日	気仙沼認知症カンファランス	気仙沼プラザホテル
12月8日	介護現場における転倒事故のとりえ方(内部研修)	福寿荘デイサービス
平成29年2月14日	介護職の心構え(内部研修会)	福寿荘デイサービス
2月16日	介護協通所系研修会	すこやか
3月6日	平成29年度改正介護保険について(内部研修)	福寿荘デイサービス
	生活支援・障害福祉課内研修(4, 5, 6, 7, 9, 10月計5回)	気仙沼市社会福祉協議会
	社協内事故防止対策委員会(7, 9, 12, 2月計4回)	気仙沼市社会福祉協議会

【成果】新規利用者の伸び悩みや既存利用者の家庭事情による施設入所によって、利用者の減少ではありましたが、当初目標としていた年間を通じての利用率75%を確保することができました。
(平成28年度 介護報酬目標達成度(当初予算対比): 88% 前年度: 107%)

【課題】利用者の伸び悩みで介護報酬収入の大幅な減収が見込まれる中、年間を通じて安定した利用率の達成と新規利用者の獲得が急務となっています。魅力ある施設運営を目指すためにも日々の活動プログラムを含めた再検討を行うとともに、より良い職場環境作りが必要となっています。

【今後の取組】職員一人ひとりが自覚と責任を持ったサービス提供に努め、職員の意識改革や介護技能の向上に繋がるよう、今後も各種研修会等への積極的な参加により専門知識の習得を図るとともに、日々の活動に創意工夫を凝らし、利用する方々や家族の方がより安心できる施設作りと指定管理者としても地域貢献できる施設運営を目指します。

【決算】事業活動収入	35,137,760 円	事業活動支出	34,601,958 円
その他の活動収入	33,600 円	施設整備等支出	624,000 円
		その他の活動支出	757,536 円
		当期資金収支差額	-812,134 円

(11) やすらぎデイサービスセンター

【概要】介護を必要とする利用者が安心して在宅生活を送れるように、また、家族の身体的・精神的な介護負担が軽減できるように、質の良い介護サービスの提供を心掛けました。
各種ボランティア団体の慰問や催し物、工夫に富んだレクリエーションの企画・提供により利用者が楽しみを持ち、生き生きと過ごせるように事業運営を行って参りました。

【事業実績】

月	要支援1	要支援2	小計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小計	合計
4	人 7	人 6	13	21	12	8	4	3	48	61
	回 34	回 47	81	147	105	53	22	18	345	426
5	人 9	人 7	16	20	13	9	4	2	48	64
	回 46	回 36	82	143	100	56	24	5	328	410
6	人 9	人 7	16	19	14	7	4	1	45	61
	回 47	回 39	86	141	112	55	23	3	334	420
7	人 10	人 6	16	16	14	9	3	1	43	59
	回 55	回 41	96	118	129	62	22	3	334	430
8	人 10	人 7	17	16	15	7	2	2	42	59
	回 50	回 37	87	105	137	53	16	7	318	405
9	人 10	人 6	16	15	15	7	1	3	41	57
	回 45	回 35	80	113	125	52	8	10	308	388
10	人 9	人 5	14	15	12	9	3	3	42	56
	回 42	回 32	74	122	102	77	13	13	327	401
11	人 7	人 5	12	14	13	9	3	3	42	54
	回 39	回 26	65	104	95	73	15	12	299	364
12	人 8	人 5	13	13	12	11	3	2	41	54
	回 42	回 27	69	111	90	93	14	11	319	388
1	人 7	人 6	13	13	13	11	4	2	43	56
	回 33	回 33	66	84	73	92	17	11	277	343
2	人 6	人 8	14	15	14	12	5	2	48	62
	回 33	回 39	72	91	64	104	24	8	291	363
3	人 6	人 7	13	14	15	12	5	2	48	61
	回 37	回 35	72	102	78	115	27	9	331	403
計	人 98	人 75	173	191	162	111	41	26	531	704
	回 503	回 427	930	1,381	1,210	885	225	110	3,811	4,741
前年度	人 95	人 84	179	229	177	108	61	22	597	776
	回 486	回 562	1,048	1,671	1,374	595	325	156	4,121	5,169

【研修・会議参加状況】

月 日	主 な 会 議 ・ 研 修 等	開 催 場 所
平成28年4月18日	気仙沼介護サービス法人連絡協議会 総会	市民健康管理センター
6月22日	介護サービスの質の向上に関する担当者研修会	イズミティ21
6月24日	保険・医療・福祉系職員スキルアップ研修	市民健康管理センター
7月3日	職員研修（内部）	福寿荘
7月19日	事例検討 グループワーク	気仙沼市立病院
7月25日	介護保険サービス事業者に対する県の集団指導	県気仙沼保健福祉事務所
7月26日	気仙沼介護サービス法人連絡協議会 管理者会議	気仙沼市中央公民館
7月29日	認知症研究集会	気仙沼プラザホテル
8月19日	介護予防体操伝達講座	市民健康管理センター
9月1日	福祉施設防犯講習会	ワンテンビル
9月6日	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月9日	安全運転管理者講習	気仙沼中央自動車学校
10月30日	在宅医療講習会	気仙沼市中央公民館
11月12日	スキルアップ研修「感染症の今日的課題」	市民健康管理センター
11月14日	福祉施設総合防災研修会	ワンテンビル
月1回	事故防止委員会	本所
全6回	課内研修	本所

【成果】質の良いサービス提供を職員全員が心掛けた結果、各居宅事業所との良好な信頼関係が構築され、新規の依頼や利用者の利用回数の追加希望等に繋がりました。

（平成28年度 介護報酬目標達成度（当初予算対比）：77.7% 前年度：93.7%）

【課題】転出・移転・他施設入所等、利用登録者の様々な減少要因に対処する為、振替での利用や入所するまでの短期間での受け入れ等、様々な工夫が必要です。

【今後の取組】継続的な新規利用者の獲得のために、より地域社会に密着し、各関係機関との良好な関係作りを継続します。またサービスの質の向上を常に念頭に置き、各種研修等に積極的に参加し、職員の資質の向上を目指します。

【決算】事業活動収入	36,010,705 円	事業活動支出	38,072,279 円
その他の活動収入	1,120,440 円	施設整備等支出	0 円
		その他の活動支出	1,034,256 円
		当期資金収支差額	-1975390 円

(12) 大谷デイサービスセンター

【概要】ご利用者の心身の状態について、ケアマネやご家族に細やかにお伝えするなど体調管理を行い、受診や治療にもつなげてきました。また、日々の衛生管理にて感染症の予防に努め、健康体操やストレッチを午前と午後実施し、機能維持を図り転倒防止に努めました。さらに、家族のニーズにも柔軟に対応し、負担軽減を図りました。

【事業実績】

月		要支援1	要支援2	小 計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	小 計	合 計
4	人	5	12	17	15	13	3	5	1	37	54
	回	24	72	96	110	100	45	29	4	288	384
5	人	5	13	18	15	13	2	5	1	36	54
	回	35	81	116	107	104	28	37	4	280	396
6	人	5	12	17	15	13	2	5	1	36	53
	回	27	70	97	117	99	27	35	3	281	378
7	人	4	11	15	15	12	2	5	2	36	51
	回	22	66	88	119	104	23	36	5	287	375
8	人	2	14	16	17	12	2	5	3	39	55
	回	13	79	92	117	101	27	28	8	281	373
9	人	3	14	17	18	11	2	4	2	37	54
	回	18	91	109	131	95	26	26	6	284	393
10	人	3	13	16	19	11	2	4	1	37	53
	回	21	82	103	145	95	29	23	1	293	396
11	人	2	14	16	19	11	2	3	2	37	53
	回	12	78	90	134	98	25	21	4	282	372
12	人	3	14	17	19	9	3	5	1	37	54
	回	20	19	99	146	76	42	32	4	300	399
1	人	3	13	16	20	9	3	5	1	38	54
	回	17	68	85	143	67	34	32	4	280	365
2	人	3	13	16	19	11	4	5	1	40	56
	回	14	78	92	112	92	41	29	3	277	369
3	人	2	14	16	18	11	3	5	1	38	54
	回	12	89	101	130	107	36	36	4	313	414
計	人	40	157	197	209	136	30	56	17	448	645
	回	235	933	1168	1511	1138	383	364	50	3,446	4,614
前年度	人	56	153	209	160	120	43	58	13	394	603
	回	271	877	1148	1146	903	373	415	57	2,894	4,042

【研修・会議等参加状況】

月 日	主な会議・研修会等	開催場所
平成28年5月10日	医療連携研修；感染管理	気仙沼市立本吉病院
5月18日	生活支援・障害福祉課課内研修；障害児者福祉サービス	本所会議室
7月20日	生活支援・障害福祉課課内研修；成年後見制度	本所会議室
7月26日	医療連携研修；ボディメカニクスに基づく介助のポイント	気仙沼市立本吉病院
8月19日	介護予防体操伝達講座	すこやか
9月 1日	防犯講習会	ワンテン庁舎
9月 6日	福祉サービス苦情解決に関する研修会	仙台市アエル
9月16日	老人福祉施設職員研修；介護記録の目的と書き方	宮城県管工事会館
10月20日	平成28年度通所事業所等職員研修「高齢者の余暇活動」	ワンテン庁舎
10月25日	医療連携研修会 感染管理「身体にかかる圧の影響と対策」	気仙沼市立本吉病院
11月12日	高齢者の余暇支援	すこやか
11月14日	福祉施設総合防災研修会	ワンテン庁舎
12月16日	「ノロウイルスをはじめとする感染症の予防と嘔吐物の処理について」	本所会議室
平成29年3月10日	本吉地域ケアマネジメント情報連絡会「がん患者さんを地域で支える」	いこい
3月17日	平成28年度記念講演会「人と接する仕事はなぜ疲れるのか」	気仙沼市民会館
その他	毎月職員会議を実施	
事故防止対策委員会。事故防止対策委員会や外部研修にかかる伝達研修実施。		

【成果】要支援の方々が多い現状にありますが、温かいケアと元気を促す支援は利用者の方々やご家族に好評で、新規利用が毎月あり、利用を増やすケースも数名ありました。また柔軟な受け入れにて、目標にはまだ及ばないものの前年度を上回る実績となりました。大谷幼稚園、大谷小学校、学童、地域のボランティア等との交流も大変喜ばれました。

【課題】デイサービスの中では交流を持ちながら活き活き活動されていますが、家庭においては役割や動くことがなく、筋力の低下や自宅での転倒のケースもありました。ご家族との関係性が難しいケースもあり課題となっています。

【今後の取組】ショートステイ利用も増えていますが、今後もケアマネやご家族との連携を深め相互に安心できる関係の構築を図っていきます。避難訓練の実施を年4回に増やし、地域の支援者を増やし災害時や緊急時の対策をしっかりと行っていきます。新規受け入れについてケアマネ事業所への働きかけを継続し、生きがいづくりを支援し、職員の質も高めて安定経営を目指します。

【決算】事業活動収入	33,958,093円	事業活動支出	35,864,053円
その他の活動による収入	2,797,671円	その他の活動による支出	891,711円
		当期資金収支差額	0円